

## 第三者意見



神戸大学大学院  
経営学研究科 教授

**南 知恵子 様**

「コミュニケーションレポート2015」では、まずNEXCO西日本グループの事業内容について、どのような目標を設定し、どのような実施枠組みと計画で行っているのかを図示しており、その後続くトップマネジメントの企業方針、特集記事による高速道路の長期保全のクローズアップにより、企業の考え方と業務がよく伝わる内容となっていると評価できます。また特集記事も、保全に関し、POINTの囲み記事で現状の問題の指摘も行っており、読み手にとってわかりやすい内容になるよう留意されています。全体的に、詳細な説明とビジュアルを効果的に使用することにより、事業に関する丁寧なコミュニケーション方針が伝わってくる内容となっています。

一方、少し改善を検討されても良いのではと思った点は、コミュニケーションレポートはCSRの観点からは、ステークホルダーへのコミュニケーションを目的としているはずですが、NEXCO西日本グループとしてのCSRが21ページ目にやっと言及されているのが気になります。「みち、ひと・・・未来へ。」というスローガンのもと実施していることや、社会的課題に responding しようとする企業姿勢や責任、行動が、冒頭の3つの特集記事のテーマにつながっているわけですので、コミュニケーションレポートのもう少し最初の方でCSRに対する考え方を打ち出した方が良いかと思えます。

CSRの重要課題と取り組み状況の一覧表は、課題に対する取り組みと実績、評価等が適度な詳細さでわかりやすいと思います。一方で、評価指標の「GRIガイドライン」など、誰でも知っているガイドラインではないので、その内容やなぜ指標として重要なのかについて多少説明があった方が良いかと思えます。また目標の到達度も重要ですが、むしろ目標設定の根拠等が示されていることが大事だと思います。

最後に細かい点ですが、SA・PA、JCTなどの略称ですが、目次の前ページに小さく略称に関する説明が記述されていて見落としそうになるので、もう少し目立たせた方が良いかと思えます。

### 第三者意見をうけて



取締役  
常務執行役員

**芝村 善治**

今回のレポートにつきましては、第三者意見は、神戸大学大学院経営学研究科教授の南知恵子様からいただきました。

南様からは、コミュニケーションレポートがその企業の考え方と事業がわかりやすく丁寧に説明されているか、CSRの観点や内容について読者やウェブサイト閲覧者の理解が深まるような改善はないか、と

いったことに関するご意見をいただきました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

高速道路という重要な社会インフラを預かる企業グループとして、社会や国民の皆さまをステークホルダーと位置付けている弊社では、事業と経営方針をわかりやすく伝えることが特に重要であると考えており、その点に関して評価をいただきました。

また、改善点につきましては、より良い内容とするためのご提言をいただきました。ご提言内容を踏まえ、ウェブサイトへ反映させるなどレポートのさらなる充実に努めてまいります。

来年度からスタートする次期中期経営計画2020に向けて、引き続き、ステークホルダーの皆さま方とのコミュニケーションを促進するとともに、事業活動を通じて企業の社会的責任を果たすべく、グループ一丸となって取り組んでまいります。